



# 特命！カメラマン

ふるさとの風景を激写せよ！

No.31 農林振興課 営農推進室 西高和義  
営農に関することを担当しています。

## ～高井田自治公民館の田の神様～

(文政6年2月23日制作)

あけましておめでとうございます。年初めの1月は、年中行事が1番多い月で1月15日は小正月になります。小正月は、豊作祈願などの農業に関連した行事が非常に多いのが特徴です。また、語呂合わせですが1月15日は1と15で『いいごはん』になります。農林振興課では、早期米品種を『コシヒカリ』から収量の多い『イクヒカリ』へ二期作の蕎麦は、『鹿屋在来』から『さちいずみ』へ推進しています。



創業 27 年

## きらく寿司



▲国道269号沿い きらく寿司



▲12月から3月までは、『ふぐ料理』も人気です。小鉢から鍋、刺身までふぐ尽くし！



▲お昼のおすすめは、からあげ定食などのセットメニュー



▲夜は、居酒屋さんのような雰囲気でも楽しんでもらいたいと店内に焼酎が並んでいます。

### ■きらく寿司

営業時間：昼 11:30～14:00 夜 17:00～22:00

定休日：毎週月曜日

場所：大崎町野方 6126 番地 (国道 269 号沿)

☎099-478-2545

# しるりまちナビ

知る 観る 食べる

野方地区の『きらく寿司』は、今年で創業27年。店主の竹下博文さんは、実家が食堂を営んでいたこともあり、気が付くと料理人の道へ進んでいたそうです。大阪で10年間修行を積み、志布志の寿司店で6年間勤めた後に『きらく寿司』を開店されたそうです。お店はご夫婦で切り盛りし、ランチ、宴会、仕出しまで幅広く対応されています。開店当初は、「寿司しかださ

ない」と肩に力を入れて働いていたのですが、現在は、常連さんに楽しんでもらえるように、串や肉料理など、徐々にメニューを増やしながら営業されています。竹下さんは、「苦労は、数えきれないほどあるが、若いときより余裕ができ、楽しく仕事ができます。定年を迎える年齢でも仕事ができるのは、お客様のおかげ。70歳までは、がんばりたい。」と話していただきました。